

理事長挨拶



社団法人 大正琴協会理事長
海部俊樹

暑さ厳しいこのごろ、会員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は協会運営にご理解、ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

大正琴も大正元年に誕生して間もなく100年を迎え、先人に感謝の念が漲ります。それを記念して、来年2011年(平成23年)1月19日(水)には神奈川県民ホールにおいてプレ大正琴合同演奏会、翌年の2012年(平成24年)2月12日(日)には名古屋国際会議場センチュリーホールで合同演奏会を予定しております、是非、皆様で大正琴の灯りを次の世代に向けて盛り上げ、続けてくださる事を念じております。

ところで、私は学生時代浄土宗の学校で学びました。今から思えば、授業中は広く仏教教育として命を大切にすることを多く培いました。これが私の大きな土台になっている証でもあり、人間の尊厳として、宗教で学ぶ心が実に大切であると思うところであります。来年の2011年は浄土宗宗祖法然上人が1211年に没して800年になります。これを偲んで京都の本山では50年毎に大法要として大遠忌が行われます。本山は多くの人々で賑わいを見せる事でもあります。遠忌とははるかな時が経った忌日という意味だそうです。

是非皆様も宗教心とは別に京都の心を見に、参拝に行かれたら如何でしょうか。

第35回通常総会議事録

1. 日 時 平成22年6月2日(水) 開会：午後1時00分 閉会：午後2時20分
 2. 場 所 名古屋市中区錦三丁目11番13号 名古屋ガーデンパレス
 3. 出席状況 会員の総数 3,114名 出席会員数 3,195名(内、委任状3,114名)
 4. 議事の概要

- (1)開会 定刻に、司会者の岩間昌一常務理事が挨拶。北林豊常務理事が、開会を宣言。
 (2)挨拶 加藤英也副理事長が挨拶。海部俊樹理事長の秘書佐々木昭雄氏が挨拶。
 (3)議長選出 司会者が、議長選出方法を議場に語ったところ司会者一任の声あり。よって、加藤英也副理事長を本総会の議長としたい旨語ったところ、全員一致をもって選出し、同氏は、これを了承し議長となった。議長は、事務局に出席状況の報告をさせた。議長は、正会員現在の数の2分の1以上の出席があったので、本総会が成立した旨を述べた。
 (4)議事録署名人選出 議長が、議事に先立ち議事録署名人2名の選出について語ったところ、議長一任の発言があり、全員異議なく賛成したので、議長は、北林篤理事及び岡本浩二理事を指名し、これを議場に語ったところ、全員異議なく承認した。被選任者らは、いずれもこれを承諾した。

5. 議 事

第1号議案 平成21年度事業報告承認に関する件

議長が、岡本浩二理事に本件議案の説明を求めた。同氏は、予め配布した資料をもとに事業報告について詳しく説明した。

以上につき議長が、議場に質問、意見を求めた後、その可否を議場に語ったところ、全員致をもって原案どおり承認可決した。

第2号議案 平成21年度収支決算承認に関する件(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

議長が、浅井信人事務局長に本件議案の説明を求めた。同氏は、予め配布した資料をもとに収支決算について詳しく説明した。

引き続き監事を代表し、遠島敏行監事が、計算書類及び理事の職務執行状況を綿密に調査したところ、いずれも適正妥当であることを認めた旨を報告した。

以上につき議長が、議場に質問、意見を求めた後、その可否を議場に語ったところ、全員一致をもって原案どおり承認可決した。

第3号議案 理事及び監事の選任に関する件

議長が、吉崎裕幸理事に本件議案の説明を求めた。吉崎裕幸理事は、当協会の理事及び監事の全員が任期満了退任するので、その改選の必要がある旨を述べた。そして、その選任方法を議場に語ったところ、議場一致をもって議長の指名に一任することになり、議長は、吉崎裕幸理事に候補者を発表させた。そして、議長は、下記の者をそれぞれ指名し、これらの者についてその可否を議場に語ったところ、議場異議なくこれを承認可決した。

なお、被選任者らは、いずれもその就任を承諾した。

理事	愛知県稲沢市小沢	海部 俊樹(重任)	東京都台東区下谷	福留 雅(※)
	浜松市中区領家	鈴木 萬司(※)	愛知県北名古屋市中区庄	徳竹悠美子(※)
	愛知県丹羽郡大口町外坪	加藤 英也(※)	山梨県上野原市コモアしおつ	池田 眞一(※)
	東京都日野市富士町	北林 豊(※)	静岡県湖西市新居町内山	吉崎 裕幸(※)
	名古屋市千種区東山元町	岩間 昌一(※)	愛知県一宮市千秋町浅野羽根	山崎 照登(※)
	長野県上伊那郡飯島町飯島	北林 篤(重任)	名古屋市千種区若水	今泉 和久(※)
	愛知県丹羽郡大口町上小口	照井 力雄(新任)	名古屋市中区千代田	岡本 浩二(※)
	東京都杉並区下高井戸	佐伯 恒司(新任)	愛知県一宮市時之島字大東	五十嵐 稔(新任)
	長野市大字村山	小坂 憲次(重任)	岡山市中区円山	藤谷 守(※)
	静岡県磐田市二之宮	竹山 裕(※)	監事 名古屋市市中区二ツ橋町	遠島 敏行(重任)
	静岡市葵区瀬名	木宮 和彦(※)	愛知県大山市大字羽黒	丹羽 正夫(※)
	東京都八王子市初沢町	高萩 保治(※)	浜松市中区中島	眞鍋 義廣(新任)

(休憩)

議長が、議事を再開し、休憩中に役付理事、4委員会の委員長及び委員らが理事会において選任された旨を述べ、被選任者らを吉崎裕幸理事に報告させた。

6. 感謝状贈呈、新副理事長就任挨拶

鈴木萬司理事から加藤英也前副理事長へ感謝状が贈呈された。次に、加藤英也前副理事長から副理事長退任の挨拶がなされた。

引き続き、理事会で新副理事長に選任された北林豊氏から就任の挨拶がなされた。

7. 閉 会

以上をもって、社団法人大正琴協会第35回通常総会の議案の全部を終了したので、議長は、議場にその協力を謝し、降壇した。そして、吉崎裕幸理事が閉会を宣した。

上記決議を明確にするため、議長及び議事録署名人は次に署名押印する。
 平成22年6月2日

社団法人大正琴協会 通常総会

議 長 加藤 英 也 印
 議事録署名人 北林 篤 印
 同 岡本 浩二 印

正味財産増減計算書

正味財産増減計算書

平成21年4月1日～22年3月31日

I	一般正味財産増減の部	
1.	経常増減の部	
	(1) 経常収益	
	基本財産運用益	72,531円
	入会金	145,000円
	会費収入	29,344,000円
	生涯学習フェスティバル	10,000円
	国民文化祭	0円
	全国子ども大正琴コンクール	474,000円
	補助金収入(日本財団助成金)	4,300,000円
	雑収入	122,094円
	出版物収入	0円
	経常収益計	34,467,625円
	(2) 経常費用	
	① 事業費	
	全国生涯学習フェスティバル(演奏会)	8,663,546円
	全国生涯学習体験学習出展	0円
	イベント助成費	200,000円
	全国子ども大正琴コンクール事業	2,537,554円
	学校等における大正琴普及事業	4,269,012円
	普及功労者表彰事業	674,023円
	協会主催 講座・講演会事業	322,285円
	地域講座等助成費	200,000円
	国民文化祭	0円
	指導者研修会	373,920円
	100年記念準備事業	424,022円
	調査研究事業	280,775円
	機関紙発行	374,963円
	パンフレット制作	0円
	ホームページ制作	175,035円
	事業費用計	18,495,135円
	② 管理費	
	管理費用計	15,909,124円
	経常費用計	34,404,259円
2.	経常外増減の部	
	(1) 経常外収益計	0円
	(2) 経常外費用計	16,573円
	当期経常外増減額	△16,573円
	当期一般正味財産増減額	46,793円
	一般正味財産期首残高	14,179,953円
	一般正味財産期末残高	14,226,746円
II	指定正味財産増減の部	
	当期指定正味財産増減額	0円
	指定正味財産期首残高	25,000,000円
	指定正味財産期末残高	25,000,000円
III	正味財産期末残高	39,226,746円

平成21年度収支計算書

平成21年4月1日～平成22年3月31日

I 事業活動収支の部	
1. 事業活動収入	
事業活動収入合計	34,467,625円
2. 事業活動支出	
事業費支出計	18,495,135円
管理費支出計	16,181,546円
事業活動支出計	34,676,681円
II 予備費支出	0円
当期支出合計	34,676,681円
当期収支差額	-209,056円
前期繰越収支差額	13,160,800円
次期繰越収支差額	12,951,744円

貸借対照表

平成22年3月31日現在

I 資産の部	
1. 流動資産合計	13,410,246円
2. 固定資産	
基本財産合計	25,000,000円
その他の固定資産合計	1,279,902円
固定資産合計	26,279,902円
資産合計	39,690,148円
II 負債の部	
1. 流動負債合計	463,402円
III 正味財産	
1. 指定正味財産合計	25,000,000円
2. 一般正味財産合計	14,226,746円
正味財産合計	39,226,746円
負債及び正味財産合計	39,690,148円

トピックス

この10月11日（日・祝）から29日まで名古屋国際会議場において世界190カ国の地域から約8千人が参加して、「COP10生物多様性条約第10回締約国会議」が開かれます。

地球上には自然や湿原、河川、サンゴ礁など様々な環境があり、多くの生き物は40億年もの進化の過程において環境に適応する事で、多様に分化したそうです。

この多様性の分化したのが生態系の多様性の一面だと聞いております。また、私たちは生物多様性からの恵みに支えられて生きています。食べ物、木材、衣服、医薬品、生きるため必要な酸素は植物等により作られ、汚れた水も微生物などにより作られ浄化されています。

従い私たちの生活に無くてはならないものであります。これからも全人類がこの教訓を基に地球に優しい地球を作ってゆく必要があります。



会員だより

「簡単そうな楽器？」

琴生流 浦田 朝子

私が、大正琴に出会ったのは、10年ほど前、あるチラシがきっかけでした。

大正琴?! 経験も無く何もわからないけれど、「簡単そうな楽器」（この認識が歴史的過ちであったことが判るのにそんなに時間はかかりませんでした!）なので、ちょっとチャレンジしてみようか。この軽い気持ちで、後々、大正琴一筋に入らねむようになるとは思いもよりませんでした。

この「簡単そうな楽器」である大正琴は、「どうしたら良い音色が出るのだろう」からの挑戦が始まり、地元北九州の教室での練習、名古屋の家元先生のレッスンと勉強を重ねてきました。今では、なんとか指導も出来るようになりましたが、すばらしい音色をだすことは、私にとっての永遠の課題と思っています。

指導をするようになってからは、教えることの難しさをあらためて感じ、生徒に育てられているところもあり、生徒個々人のいろいろな出来事にも直面します。嬉しいこと、楽しいこと、悲しいこともありました。なかでも、生徒さんを二人亡くし葬儀に参列し、大正琴の演奏で見送ったことは、とてもとてもつらく悲しいことでした。二人がこよなく愛してくれた大正琴の音色でお別れすることが一番の供養と考え、涙しながら演奏し、ご遺族の方から大正琴の音色に感銘を受けたと感謝いただきました。

最も楽しく嬉しかったことは、生徒と一緒にコンサートを開催、お客様にも満足して頂き大正琴の良さを理解して頂いたことです。大正琴と、シンセサイザー、横笛、二胡、和太鼓等とのコラボレーションにも取組み、いろいろな曲に挑戦しました。表現力の豊かさを生かすことに心がけ工夫しました。このような経験をつむにつれ、大正琴はその場に応じた音色で奏でることが出来る奥の深い楽器だと感慨を深めています。

大正琴の真の力をひきだすには、研鑽を重ねないと、出来る事ではないと思っています。体力、気力も下降線で、くじけそうになりますが、教室の先生や生徒たちと力をあわせ、チームワークよく、皆の持っている力も借り、相互支援の精神で、励んでいます。

これからも「簡単そうな楽器」大正琴の理想の音色に少しでも近づくことが出来るよう、家元先生の言葉がけの一つ一つを大切に、「もっと良い音色」に、生徒ともども挑戦し続けていく思いを新たにしている昨今です。



平成22年度 理事長表彰状受賞おめでとうございます

社団法人「大正琴協会表彰規定」に基づき、平成22年6月2日書きの皆さんが受賞されました。
(以下敬称略)

規定2条2項 当協会の事業の発展に貢献した者(3名)

加藤 昭代 愛知県丹羽郡大口町外坪
横幕 睦 浜松市中区菟丘
平野 芳男 愛知県丹羽郡大口町外坪

規定2条3項 当協会の名譽を高めるにふさわしい功績があった者(4名)

清沢 磯之 富山県砺波市鷹栖
大林 健次 神奈川県横須賀市久里浜
大槻 孝男 千葉県花見川区畑町
長塚 文夫 山形県山形市笹田

規定2条4項 当協会の指導者として永年にわたり大正琴音楽の指導に尽力した者(40名)

鈴木ヒロコ 静岡県焼津市焼津
山本 竹史 石川県七尾市沢野町
石坂 禮子 福井県越前市村国
小武麻理子 福井県福井市下森田桜町
藤江 容子 石川県金沢市粟崎町
井坂恵美子 三重県伊賀市七木本
大岩 允子 愛知県知多郡武豊町
福原シゲ子 福島県郡山市大槻町
富樫 春夫 新潟県村上市飯野西
山口 弥生 静岡県駿東郡小山町
芹澤ひろ子 静岡県御殿場市萩原
小山みちよ 長野県長野市真島町
吉井ちよ子 長野県茅野市中大塩
伊藤 和子 長野県茅野市玉川
榑原 哲子 愛知県西尾市ハツ面町
篠田 康子 岐阜県各務原市鶴沼山崎町
田村 昌子 名古屋市昭和区萩原町
今井 悦子 岐阜県下呂市森
永縄 好美 岐阜県高山市中山町
上田 泰子 埼玉県志木市柏町
浦田 朝子 北九州市八幡西区大畑町
増淵 弘子 栃木県宇都宮市平松本町
石井 幸枝 栃木県足利市利保町
永田千賀子 栃木県足利市利保町
鳥居恵美子 札幌市清田区真栄四条
及川 式子 仙台市太白区鉤取本町
平田万里子 徳島県名西郡石井町
川住 有慧 名古屋市守山区小幡中
宮阪 元江 長野県諏訪市豊田文出
林 玉江 長野県駒ヶ根市赤穂
川島美陽子 大阪府茨木市山手台
小林 玲子 東京都町田市鶴川
上原 良子 宮崎県宮崎市大字赤江
竹内 政恵 長野県松本市会田
安藤 和津 宮崎県宮崎市下北方町
上原恵美子 長野県岡谷市長地源
田中 美咲 長野県伊那市美箇中県
坂 悦子 北海道北見市北上
木間美智子 愛知県岡崎市田町
伊藤真由美 神奈川県大和市つきみ野

今後のスケジュール予定

- ・平成22年度全国子ども大正琴コンクールの開催

将来を担う子ども達に大正琴の良さを広げ、次世代への継承を図るため平成20年度から開催しています。

日 程 平成22年9月23日（木・祝）

会 場 中電ホール

名古屋市中東区東新町1-1

「大正琴伝承教育の実施」及び「全国子ども大正琴コンクール」とも、日本財団からの助成により実施しています。

- ・第25回国民文化祭・おかやま2010「大正琴の祭典」

日 程 平成22年11月6日（土）～11月7日（日）

会 場 岡山県勝央町文化ホール

- ・全国生涯学習フォーラム高知大会大正琴合同演奏会

日 程 平成22年11月22日（月）

会 場 高知市かるぼーと

- ・通常総会

第36回通常総会・講演会

日 程 平成22年12月8日（水）13時から

会 場 大阪ガーデンパレス

大阪市淀川区西宮原1-3-35

- ・大正琴誕生100年記念プレ合同演奏会

日 程 平成23年1月19日（水）

会 場 神奈川県民ホール

- ・第26回国民文化祭・京都2011ブレ大正琴の祭典

日 程 平成23年2月13日（日）

会 場 京都府城陽市文化パルク城陽

- ・指導者研修会

日 程 平成23年3月予定

会 場 京都府を予定

内 容 大正琴誕生100年記念にちなんだ内容を予定。

- ・大正琴誕生100年記念合同演奏会

日 程 平成24年2月12日（日）

会 場 名古屋国際会議場センチュリーホール

- ・小中高等学校における大正琴伝承教育の実施

平成22年4月以降平成23年2月まで実施。全国の小中高等学校等へ再生した大正琴を寄贈したり、講師を派遣して次世代へ大正琴を文化として伝承する施策です。



平成22年度 大正琴琴伝承教育の実施

2007年に大正琴伝承教育事業を開始してから、5カ年計画の4年目に入りました。当初の目標は、講習学校数260校、リユースした大正琴寄贈1200台、講習回数5800回、受講生徒数5700人でスタートしました。

現在のところ皆さんのご協力により、全体的には達成率60パーセント台で推移しております。

この目的は、大正元年に誕生した大正琴も、幾多の盛衰もありましたが、多くの愛好者に培われ、2012年には誕生して100年になります。これからも次の世代に向けて生々発展させてゆくには、次世代を担う子ども達に普及させることが絶対必要条件であります。そうした観点から従来加盟流会派でも実施していたところもありましたが、一層充実を図ることから位置付けられ、この伝承教育が始まりました。

全国各地での伝承教育には、皆様のボランティアの面や献身的な姿といい積極的な行動に厚くお礼申し上げます。2009年度の実績は講習学校数57校・大正琴寄贈件数233台・講習延べ回数1370回・受講生徒数1660人でした。3年間のトータルでは講習校167校大正琴寄贈件数857台講習延べ回数3512回受講生徒数3742名に及びました。本年度も講習校50校、大正琴寄贈180台講習延べ回数1200回を予定しております。是非皆様の協力をお願いします。



編集後記

大正琴が発明されてまもなく100年、その頃の出来事を見ました。

大正デモクラシーの言葉にありますように、自由と民主主義の思想が生まれ、西歐文化を積極的に取り入れる時代でもありました。主な出来事として今では定番となっている銭湯の富士山のタイル絵、宝塚唱歌隊、エスカレーター、赤レンガの東京駅誕生、パン食にジャム、バターの使用、掃除機の発売など新しい文化が芽生えました。

また、新しい文化の誕生と共に、様々な会社や商店が創業した時期でもありました。

ちなみに、当時のヒット曲・流行歌は茶摘・汽車・村祭り・都ぞ弥生・広瀬中佐・春の小川・村の鍛冶屋などが上げられます。